

富士通環境行動計画 / 第2期(要約)

「富士通環境憲章」に定めた事項を具体的に実践していくため、「富士通環境行動計画」(第2期:1996年4月策定)に対策ごとの数値目標などを定めています。1999年度の目標と実績および2000年度の目標は、次のとおりです。

行動目標

項目	行動目標	1999年度		2000年度目標	関連ページ
		目標	実績		
環境マネジメントシステム	工場や事業所(開発・サービス拠点含む)を対象に、2000年度末までにISO規格に基づく環境マネジメントシステムを構築・運用	開発・サービス事業所 認証取得 2事業所	2事業所 (達成)	— ^{*1}	9
製品リサイクル対策	回収廃製品を対象に、2000年度末までにリサイクル率 90%達成	90%	90% (達成)	90%	17
工場廃棄物減量化対策	工場廃棄物量を、2000年度末までに1991年度実績比で 80%削減	83%削減	85%削減 (達成)	88%削減 ^{*2}	23
化学物質の排出削減	環境負荷低減のため、化学物質の排出量を2000年度末までに1995年度実績比で20%削減	17%削減	17.3%削減 (達成)	20%削減	25
省エネルギー対策 (地球温暖化対策)	単位売上高あたりの電力使用量を、2000年度末までに1990年度実績比で20～30%削減	34%削減	35.8%削減 (達成)	40%削減 ^{*2}	27

*1. 環境マネジメントシステムについては、1999年度において行動目標を達成したため、2000年度目標はありません。

*2. 工場廃棄物減量化対策および省エネルギー対策については、1998年度にて行動目標を達成しているため、2000年度目標(部分)は、さらに上乗せした目標を設定しました。

行動目標達成のための主な具体策

環境マネジメントシステム

- ISO14001の導入
 - 共通仕様書類の整備によるシステム構築と運用の定着
 - システム構築と運用ノウハウの共有
 - 内部環境監査の実施によるシステムの有効性確認と環境パフォーマンスの向上
 - 製品および工場における環境影響など各種アセスメントの実施

製品リサイクル対策

- 製品開発・設計段階における環境対応
 - グリーン製品の開発推進
 - 開発コンセプト確立、製品の開発推進
 - 製品環境アセスメント実施によるレベル向上
 - リサイクル率の向上
 - ライフサイクルアセスメント(LCA)技術の導入
 - LCA基礎技術の確立
 - グリーン製品開発への適用
 - リサイクルを考慮した包装技術の開発
 - 有害物質の使用自主規制
 - リスクアセスメント、リスクマネジメントの実施
 - ガイドラインによる製品設計のサポート
- グリーン調達への推進
 - 環境に配慮した材料・部品・製品の積極的調達
- 廃製品の収集・リサイクル
 - リサイクルセンター設置の全国展開
 - 廃製品の解体手順確立

工場廃棄物減量化対策

- 廃棄物の減量化
 - 廃油の廃棄基準の見直し、使用量の抑制
 - 有機アルカリ廃液の減圧化による濃縮
- 廃棄物の有効利用
 - 汚泥に含まれる有価金属や、現像液、めっき液などの再利用化の向上
- 減量化マニュアルと事例集の整備・運用

化学物質の排出削減

- 工場で使用・排出される化学物質の削減
 - 排出低減化技術の確立
 - 化学物質使用方法の改善による使用量の削減

省エネルギー対策

- 工場、事業所の省エネルギー技術・設備などの導入促進
 - 省エネルギー新技術設備導入、技術確立
 - 省エネルギー製造設備、製造プロセスの開発
 - エネルギーの使用効率化
- 省エネルギー技術、ノウハウの工場・事業所間の水平展開
- エネルギー使用状況の的確な把握方法、システムの構築